

安西水丸さんシルクスクリーン展
 幻のシルクスクリーン開催にあたり
 原稿用紙に書いていた
 ごあいさつの文立早です。

山陽堂だより 23

2011年7月(文月)



毛細血管
 きたえるぞい

ある
 出版人の
 言葉

街の書店は
 人間なら
 毛細血管。
 これがやられると
 最後は心臓が
 止まる。(朝日新聞
 本の舞台裏より)

この度はお忙しい中を「幻のシルク」展
 にお越しいただきありがとうございます。
 謹んでお礼申し上げます。

安西内状にも書きましたがこのギャラリー
 は、青山の老舗書店「山陽堂」がオープン
 たギャラリーです。何令にも素人ですので、
 などと言いつつこの、世界注目の青山の
 と真中にギャラリーをオープンしてしまっ
 んです。から大したもの。今後このギャ
 ラリーでさまざまな作家の展覧会が見られ
 ことを切に願っております。今回はシルクスクリー
 の他に、ぼくの好きな文庫本を十冊選び
 置くことにもなりました。

水丸はこんな本が好きなのかと、
 比呂様に御興味を持っていたけ
 ましたら、とふもいます。皆様
 ありがとうございました。安西水丸(印)



安西水丸さんシルクスクリーン展

『幻のシルク』 7/1~15 出来事 あれこれ

水丸さんの急会は、生まれたこのギャラリー山陽堂を明るくて楽しい場所に变身させてくれました。ギャラリーが喜んでほほ笑んでいるようでした。

読本

ギャラリーのある本屋ということで、水丸さんにおすそめの本を10冊選んでもらい、七夕の日にブックトークをたぶ.り90分。

「きょうママンが死んだ」有名な冒頭からはいまる、不条理を突いたカミの『異邦人』。『和田さんは天才』と水丸さん、その和田誠さんとの共著『青豆とうぶ』。30年来の友人村上春樹さんの『中国行きのスローホーク』、この本には彼のエッセイがまつているとおすそめ。柳泉悦『民藝四十年』は日本人だったら必ず書棚に入れてほしい本。嵐山光三郎『文人思食』は嵐山でなければ書けないある意味文学史。その他村上春樹さんとの共著二人で工場見学をした

『日出る国α工場』。散文としてよむとよ、ロレンスタレシの『黒い本』。息つくしまでもないくらいおもしろい本ジャック・ヒギンス『鷲は舞い降りた』。明治初期がユーク、好きな本は何度かもよまるとのこと津本陽『明治尊剣会』、水丸さん同著者の『倉州町』に解説を書いた。松本清張初期の作品『ある小倉伝日記』。

2回めのトークイベントでは、水丸さん小学ほ時代からの絵を見ながら『ほくほこんな風に絵を描いてきた』。貴重な話をきかせていた=ききました。引きつきの3Fで二回会。新潟の名酒、宮尾酒造さんのメ張鷲をくみ交しながら、水丸さんと、そして参加してくた=た方たち同士で、みなさま話に花を咲かせていたまうでした。

大活躍!! アリガトウ



山陽堂にあります TEL 3401-1309

水丸さん



ありがとうございました